

第7号

# ほっとほ〜む

<発行> 社会福祉法人 大阪福祉事業財団 高鷲学園 ☎ 072-953-3881 FAX 072-953-3882  
<発行責任者> 園長 瀬川 佳成 Eメールアドレス takawashi@miracle.ocn.ne.jp  
〒583-0885 大阪府羽曳野市南恵我之荘2丁目6番20号

## 子どもたちの夢かなう年へー

新年あけましておめでとうござ  
います。

昨年は、高鷲学園のために温かい  
励ましやご支援をいただき、ありが  
とうございました。おかげさまで、  
新園舎での生活にも慣れ、子どもた  
ち(96名)は元気にすこやかに新た  
な年を迎えることができました。

さて、施設の1年はまたたく間に  
過ぎていく感があります。たくさん  
の子どもたちを相手にばたばたと忙  
しくしているからでしょうか。この  
間卒園生を送りだしたと思ってい  
たら、もう今年の卒業を祝う会の話題  
が出るようになりました。

そういえば、年の暮にうれしいこ  
とがありました。昨年卒園した子ど  
もがボーナスをもらったからと言っ  
て、職員全員にケーキを買ってきて  
くれました。福祉施設で介護ヘルパー  
をしている子です。仕事の大変さに、  
辞めたいという時期もありましたが、  
何とが乗り越えてがんばってくれて  
います。

一方、この春卒園する高校3  
年生は8人ですが、例年なら落  
ちることがなかった採用試験。  
今年是不採用の通知が続き、2

回3回と試験を受けてようやく  
決まる有様です。就職難の深刻  
さを目のあたりにしました。

今のところ学園では大学や専  
門学校への進学はままならず、  
住込み就職しか選択肢がありま  
せん。卒園後支援してくれる親  
等もなく、厳しい社会の中で生  
きていくことになりました。先の  
子どものように「先生、がんばっ  
てるよ」という良い知らせが聞  
けることを願っています。合わ  
せて大学等への進学の為の条件  
作りに取り組みたいと思います。

昨今、児童虐待など子どもを  
とりまく環境は悪化していて、  
施設の子育てもむつかしくなっ  
ています。ただ、子育てはすぐ  
に答えが出るようなものではあ  
りません。将来子どもたちが幸  
せに暮らすために、小さな種を  
まくようなものです。日々の生  
活を大切にしながら、今年も職  
員一同がんばっていききたいと思  
います。

皆さま方にとって、幸多い年  
になることを祈っております。  
(園長 瀬川 佳成)

## 今年の抱負

今年卒園を迎える高校3年生  
や、高校受験がある中学3年生  
に今年の抱負を聞いてみました。

「働き出して、社員の人た  
ちに信頼される人になる。」  
(高校3年生 男子)

「仕事を始め、長く続けていき  
たいと思います。」  
(高校3年生 男子)

「受験に合格して、高校生に  
なったらクラブを頑張りたいで  
す。」  
(中学3年生 女子)

「高校生になったら、高校生  
活を楽しく充実したものにした  
いです。」  
(中学3年生 女子)

職員一同子どもたちが幸せに  
暮らしていける社会になること  
を願っています。



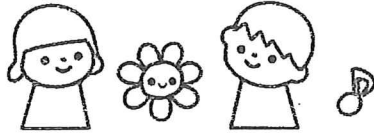
# 今日の特集

今回は、高鷲学園での取り組みの一つである心のケアについて簡単に紹介させていただきます。

## なぜ心のケアが必要か?

必要か?

児童養護施設で暮らす子どもたちに、なぜ心のケアが必要なのでしょう? 高鷲学園では、いろいろな事情で親と暮らせない子、虐待を受けた子、発達の遅れやアンバランスを抱えた子どもたちが集団で生活しています。いろんな問題や傷つきを抱えながらも、子どもたちは職員との関係に支えられて学園生活の中で少しずつ「安全」や「安心」をとり戻していきませんが、それらのケアを補う方法のひとつ

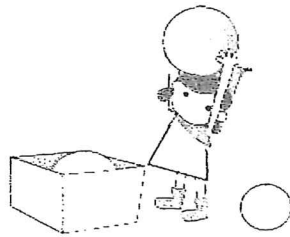


として、心のケア(≒手当て)、いわゆるセラピーと呼ばれるものがあります。

## 遊びを使った心のケアを通して

遊びを使った心のケアを通して

言葉のやりとりを中心とした大人のカウンセリングに対して、子どものセラピーはプレイセラピーと言って、子どもにとって一番身近な「遊び」を使います。子どもは、決まった時間に決まった場所です。子どもにとってセラピーは「何をしてよいし何を話してもよい場所」で、最小限のルールという枠組みに守られながら、子どもは遊びを通して自由に心の世界



たくさんのおもちゃがあるプレイルーム

傷を抱えた子どもたちがこの世界や大人といったものをどんな風に見ているのかや、自分の力をどう回復させ前へ進むうとしてしているのか。子どもがたくましい姿に教えてもらうことがたくさんあります。そんな子どもたちの心と、これからもゆっくりと向き合っていきたいと思っています。



(臨床心理士 上田文)

## 子どもの心に

## 寄り添いながら

子どもたちの心にそっと手を当てさせてもらいながら感じるの、



落ち着いた雰囲気の心理室

# 楽しかった 大泉緑地



10月31日に松原青年会議所有志の皆さんに招待していただき、小学生28名(付き添い職員3名)が参加しました。あいにくの雨でしたが楽しい一日を過ごすことができました。

この日のために2か月前から準備を下さった皆さんのおかげで、普段は時間に追われて生活している子どもたちも大勢の大人に囲まれ、のんびりとした時間を過ごすことができました。

ありがとうございました。  
(学童ブロック 矢野川きよみ)

子ども達に楽しかった大泉緑地行事の感想を書いてもらいました。

「楽しい一日でした」

小4男子

大泉緑地に着いて最初にゲームをしました。だるまさんが転んだでスタートしました。僕は最後まで動きませんでした。クイズは難しかったです。クイズが終わった後にパーベ



キューをしました。お肉をいっぱい食べておいしかったです。

そして結果発表の時、ドキドキ

しました。僕たちは2位でした。

1位になりたかったけど2位の景

品のおやつもいっぱいでした。シャ

ボン玉ももらいました。

その後、学園に帰って、さっそ

くシャボン玉で遊びました。楽し

い一日でした。まだ行きたいです。

## 七五三参り



「たくさん食べてたくさん笑って」  
小3男子  
バスで大泉緑地に行きました。班品がもらえてよかったです。結果は8位でした。  
その後パーベキューをしてたくさん

ん食べました。景品はお菓子とシャボン玉でした。楽しかったです。景品がもらえてよかったです。



毎年、学園の近所にある大津神社より七五三の招待があります。今年も11月5日の日曜日に5名の子どもたちと出かけてきました。かわいらしいワンピースやかっこいいスーツを着て、お散歩で大津神社へ行く時とは表情が違いました。大津神社に到着し、神主さんのお祓いを受けている時には、緊張からそわそわしている子や、初めての経験に興味津々の子など、普段の生活では見ることができない子どもたちの表情や仕草を見ることができました。

その後も神社内の神様をひとつひとつお参りし、それぞれの思いを込め、手を合わせてお祈りしました。

帰園してからはいただいたおもちゃでたくさん遊び、おやつには千歳あめ、栗おこしを食べました。子どもたちは「太鼓が鳴った」「お祓いしてもらった」等とお話していました。子どもたちにとっても貴重な経験をさせて頂きありがたかったです。

(幼児ブロック 村上 裕子)



**寄付金・寄贈をいただいた方**  
 (2010年10月〜12月22日)  
**ありがとうございます。**  
 (敬称略)

**寄付金**

- H・A (羽曳野市)
- 恵我之荘校区福祉委員会
- すみれダンス同好会 (羽曳野市)
- T・M (大阪市)
- A・Y (大阪市)
- 国際ソロプチミスト大阪みささぎ

**寄贈**

- 祇園寿司 (空気清浄機)
- 浅田満 (国産牛ロース・ケーキ)
- ㈱オリンピア製菓 (お菓子)
- 朝日新聞河南販売㈱ (玩具ブロック・小学生新聞・中学生ウィークリー)
- ㈱フリーマーケット123 (商品券)
- 小田正典 (お米)
- ハンキユウ家具 (ケーキ)
- 全国シヤンメリー組合 (シヤンメリー)
- 水野和明 (じゃんぼどらやき)
- サンフレイバー (ケーキ)

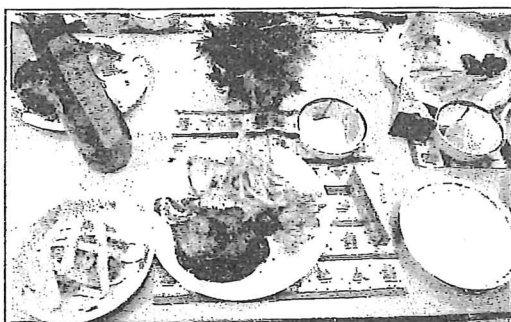
**招待**

松原青年会議所ふれあい有志の会 (オリエンテーリング・バーベキュー)  
 大阪産業大学 (プラネタリウム上演)

**キラキラ光る☆お星さま**

12月11日に、大阪産業大学の学生サークルが、手作りのドーム型プラネタリウムを持ってきて下さり、上映がありました。真っ暗なドームの中に入り合図とともに照明が消されると、数千の星が映し出されました。学生さんがいろいろと説明をしてくれているのですが、それも聞かないほどの大きな歓声があり、大興奮の子どもたちでした。★  
 (学童ブロック 野本健太)

**調理ブロック**



12月と言えば子どもたちが楽しみにしているイベントの一つであるクリスマスがあります。子どもたちが楽しみにしているクリスマス調理ブロックの腕でより一層楽しいものにできるように一カ月前から準備を始めました。子どもたちから何が食べたいかのアンケートを取りました。それを基に栄養が偏らないようにメニューを考えました。また目で見るようにクリスマスイメージが出来るように、食器はクリスマス用を使い、定番のクリスマスチキンやサラダをリース風に盛りつけました。子どもたちの喜んでる姿を見て、これからも子どもたちの心とお腹を満たせるように頑張りたいと思います。

(調理ブロック 熊本 容仁)

**市民マラソン**

天気は久しぶりの快晴、そんな中、羽曳野市市民マラソンが開催されました。今回は、11名の子どもたちが、元気良く参加しました。結果としては、表彰台にのぼることはできなかつたけど、みんな清々しい気持ちになっていました。来年も楽しく皆で走れたらと思います。  
 (学童ブロック 岡出多申)



**ほっとこと**



2010年を振り返ると、『暑』となりましたが、幼児の子は暑さにも負けず、外で元気に遊び回っていたのが思い出されます。寒くなつた今でも「お外で遊びたい」とよく声が上がります、自転車で乗ったり、かけっこをしたりと『熱』中して遊んでいます。来年は、幸せになれるような一字になることを願って、子どもたちと遊んでいきたいです。  
 (幼児ブロック 吉迫 宣俊)